

プレスリリース

報道関係者 各位

押し紙を考える勉強会

このたび、NO!残紙キャンペーン（以下、当会）は、以下の要旨に基づき国会議員会館で勉強会を開催するため取材をお願いします。押し紙（残紙）とは、新聞社がその販売店に送付しながら、販売店から個別の読者に配られることのない新聞であり、ほとんどがゴミとして捨てられています。

10万部を実配する場合には、その部数に応じた広告費を請求します。しかし、実際には6万部しか配布していないのであれば、広告費の水増し詐欺との国民世論からの批判は免れません。環境問題としても看過しえぬ悪しき慣例ではありますが、公正取引委員会から指導されるべき明確な違法行為です。

昨今、ネットの台頭もあってか部数の減少は留まるところを知らず、結果として押し紙の部数が尋常ならざる規模となっているとの指摘もあります。全国で多数起こされている押し紙訴訟においては、押し紙比率が4割に迫っている事例もありました。中には7割という事例まで法廷にて明かされています。実際には配られない部数の代金を、代理店が負担させられています。

この度、佐賀新聞との訴訟において、押し紙巡る仮処分を得ることができました。そこで原告である販売代理店主に登壇して頂き実態を報告して頂きます。また、本件に明るいジャーナリストから事例の報告を行うとともに、複数の政治家が本問題については言及いたします。

押し紙については、自民党のみならず野党からも国会で取り上げられており、保守・革新を問わず、超党派で議論されています。報道とは、民主主義を考える上でも極めて重要な役割を果たしていることは、メディア関係者のみならず政治家も含め、また社会全体が事実として認識しております。そのうえで、歪んだ商行為が是正されぬまま放置されることには大きな問題を感じるため、具体的な事象・事例を踏まえ、勉強会を行います。

■開催概要

日時 平成30年11月1日

開演 17:00（開場 16:30）

場所 衆議院第二議員会館 第一会議室（地下1階）

主催 NO!残紙キャンペーン

■お問い合わせ先

黒薮哲哉 TEL: 048-464-1413

E-mail: xxmwg240@ybb.ne.jp

NO！残紙キャンペーン

呼びかけ人：

黒薮哲哉（ジャーナリスト）

小坪慎也（行橋市議会議員）

賛同人：

江上武幸（弁護士） 青木歳男（弁護士） 松澤麻美子（弁護士）

西岡里恵（弁護士） 依田有樹恵（弁護士）

野田しょう子（東大阪市議会議員） 笠間昇（綾瀬市議会議員）

渡辺こうへい（須賀川市議会議員） 加納雄二（弁護士）

田中がく（貝塚市議会議員） 阿部利基（前・石巻市議会議員）

小林貴虎（津市議会議員） 佐々木創主（柳川市議会議員）

岡島貴弘（志木市議会議員） 伊藤嘉規（あま市議会議員）

丸山ひろあき（逗子市議会議員） 三井田孝欧（柏崎市議会議員）

柴藤泰輔（前・鳥栖市議会議員） 井上貢（大和市議会議員）

澤藤統一郎（弁護士） 小坂英二（荒川区議会議員）

植田勝博（弁護士） 鈴木正人（埼玉県議会議員）

深田萌絵（経済評論家） 西村幸祐（批評家・作家・ジャーナリスト）

徳矢卓洋（弁護士） 清水忠史（前・衆議院議員）

森耕治（あま市議会議員） 大山孝夫（那覇市議会議員）

ほり堅一（大町市議会議員） 児玉千明（高浜町議会議員）

NO!残紙キャンペーン

<http://no-zanshi.com/>